2021年度

ブラックスタート機能提出様式

2021年8月30日

北海道電力ネットワーク株式会社

２０２１年●月●日

様式１

入　札　書

北海道電力ネットワーク株式会社

代表取締役社長　薮下　裕己　宛

　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発電所名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　　　　　　　　印

北海道電力ネットワーク株式会社が公表した「2021年度ブラックスタート機能募集要綱」を承認し、下記のとおり入札いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １．ブラックスタート機能の種別 | 全系統ブラックスタート一部系統ブラックスタート(　　系統) |
| ２．発電機等所在地および名称 |  |
| ３．主機の名称および送電端出力 | 号機　　　　　　kW |
| ４．非常用発電機の種別と出力 | 圧油用水車（　台）水車発電機（　　kW　　台）エンジン発電機（　　kW　　台）蓄電池（　　Ah） |
| ５．入札価格 | １式　　　　　円 |
| ６．計量器の有無 | 有　・　申請中 |

（作成にあたっての留意点）

・「１．ブラックスタート機能の種別」において、入札を行う契約について、〇（マル）で囲んでください。

・「３．主機の名称および送電端出力」において、主機が複数ある場合は全て記載してください。

・「５．入札価格」において、入札価格の内訳として、「ブラックスタート電源　費用内訳（様式７）」を提出してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

応札者の概要

様式２

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 |  |
| 業種 |  |
| 本社所在地 |  |
| 設立年月日 |  |
| 資本金（円） |  |
| 売上高（円） |  |
| 総資産額（円） |  |
| 従業員数（人） |  |
| 事業税課税標準 | 収入割を含む　・　収入割を含まない |

（作成にあたっての留意点）

・業種は、証券コード協議会の定める業種別分類（33業種）に準拠してください。

・契約主体が、合弁会社の場合や落札後に設立する新会社である場合は、代表となる　　事業者に加えて関係する事業者についても、本様式を提出してください。

・資本金、売上高、総資産額、従業員数は、直前の決算期末の値（単独決算ベース）を記載してください。なお、落札後に新会社等を設立する場合は、応札時点で予定している資本金等を可能な限り記入してください。

・応札者が適用する事業税課税標準について、○（マル）で囲んでください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

発電設備の仕様（火力発電所）

様式３の１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．発電所の所在地 | （１）住　　所（２）名　　称 | ４．発　電　機 | （１）種類（形式）（２）定格容量（ｋＶＡ）（３）定格電圧（ｋＶ）（４）連続運転可能電圧（定格比）（％）（５）定格力率（％）（６）運転可能力率範囲（％）（７）周波数（Ｈｚ）（８）連続運転可能周波数（Ｈｚ）（９）機　数 |
| ２．営業運転開始年月日 |  | ５．熱効率（ＬＨＶ）、所内率 | （１）発電端熱効率（%）（２）送電端熱効率（%）（３）所内率（%） |
| ３．使　用　燃　料・貯蔵設備等 | （１）種　類（２）発熱量（ｋＪ／ｋｌまたはｋＪ／ｔ）（３）燃料貯蔵設備　総容量（ｋｌまたはｔ）　　　　タンク基数　　　　備蓄日数 | ６．その他機能の有無 | （１）試送電機能　　　　　有･無（２）ＦＣＢ運転機能　　　有･無（３）ガバナフリー機能　　有･無（４）電圧調整機能　　　　有･無（有または無のいずれか一方を○で囲んでください） |

（作成にあたっての留意点）

・発電機の性能（発電機容量、専用線オンライン信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

様式３の１

記載例

発電設備の仕様（火力発電所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．発電所の所在地 | （１）住　　所　○○県○○郡○○町○○字○○番○（２）名　　称　○○火力発電所○号発電機 | ４．発　電　機 | （１）種類（形式）（２）定格容量　　　　　　　　　　８００，０００ｋＶＡ（３）定格電圧　　　　　　　　　　２５ｋＶ（４）連続運転可能電圧（定格比）　９７％～１０３％（５）定格力率　　　　　　　　　　９０％（６）運転可能力率範囲　　　　　　遅れ９０％～進み９５％（７）周波数　　　　　　　　　　　５０Ｈｚ（８）連続運転可能周波数　　　　　４８．５Ｈｚ～５０．５Ｈｚ（９）機　数　　　　　　　　　　　１機 |
| ２．営業運転開始年月日 | １９８９年６月３０日 | ５．熱効率（ＬＨＶ）、所内率 | （１）発電端熱効率　３８．８％（２）送電端熱効率　３７．２％（３）所内率　　　　４．０％ |
| ３．使　用　燃　料・貯蔵設備等 | （１）種　類　ＬＮＧ（２）発熱量　４４．７×（ｋＪ／ｔ）（３）燃料貯蔵設備　総容量　１００．０千（ｋｌ）　　　　　タンク基数　　　　　６基　　　　備蓄日数　　　　　　１０日分（１００％利用率） | ６．その他機能の有無 | （１）試送電機能　　　　　有・無（２）ＦＣＢ運転機能　　　有・無（３）ガバナフリー機能　　有・無（４）電圧調整機能　　　　有・無（有または無のいずれか一方を○で囲んでください） |

（作成にあたっての留意点）

・発電機の性能（発電機容量、専用線オンライン信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

発電設備の仕様（水力発電所）

様式３の２

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．発電所の所在地 | （１）住　　所（２）名　　称 | ４．発　電　機 | （１）種類（形式）（２）定格容量（ｋＶＡ）（３）定格電圧（ｋＶ）（４）連続運転可能電圧（定格比）（％）（５）定格力率（％）（６）周波数（Ｈｚ）（７）連続運転可能周波数（Ｈｚ）（８）機　数 |
| ２．営業運転開始年月日 |  | ５．所　内　率 |  |
| ３．最大貯水容量 |  | ６．その他機能の有無 | （１）試送電機能　　　　　　有 ・ 無（２）ポンプアップ　　　　　有 ・ 無（３）可変速運転機能　　　　有 ・ 無（４）調相運転機能　　　　　有 ・ 無（５）ガバナフリー機能　　　有 ・ 無（６）電圧調整機能　　　　　有 ・ 無（有または無のいずれか一方を○で囲んでください） |

（作成にあたっての留意点）

・発電機の性能（発電機容量、専用線オンライン信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

発電設備の仕様（水力発電所）

記載例

様式３の２

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．発電所の所在地 | （１）住　　所　○○県○○市○○字○○番○（２）名　　称　○○水力発電所○号発電機 | ４．発　電　機 | （１）種類（形式）　　　　　　　　揚水式（２）定格容量　　　　　　　　　　２７９，０００ｋＶＡ（３）定格電圧　　　　　　　　　　１３．２ｋＶ（４）連続運転可能電圧（定格比）　９７％～１０３％（５）定格力率　　　　　　　　　　９０％（６）周波数　　　　　　　　　　　５０Ｈｚ（７）連続運転可能周波数　　　　　４８．５Ｈｚ～５０．５Ｈｚ（８）機　数　　　　　　　　　　　６機 |
| ２．営業運転開始年月日 | １９９５年１１月３０日 | ５．所　内　率 | ４．０％ |
| ３．最大貯水容量 | ９、０００（） | ６．その他機能の有無 | （１）試送電機能　　　　　　有 ・ 無（２）ポンプアップ　　　　　有 ・ 無（３）可変速運転機能　　　　有 ・ 無（４）調相運転機能　　　　　有 ・ 無（５）ガバナフリー機能　　　有 ・ 無（６）電圧調整機能　　　　　有 ・ 無（有または無のいずれか一方を○で囲んでください） |

（作成にあたっての留意点）

・発電機の性能（発電機容量、専用線オンライン信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐火力発電所‐

様式４の１

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電機名 | 最大電力（kW） | 起　動 | 停　止 | その他制約 |
| 区分 | 停止時間（h） | メタル温度（℃） | 指令～フル出力 | 給電運用 | 標準停止 | 冷却停止 | 運転可能時間 | 起動可能回数 |
| 起動指令 | ボイラ点火 | ﾀｰﾋﾞﾝ起動 | 並列 | 定格出力 | 並列から | 出力（kW） | 定格出力～解列 | 解列時出力 | 定格出力～解列 | 解列時出力 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

記載例

様式４の１

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐火力発電所‐

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電機名 | 最大電力（kW） | 起　動 | 停　止 | その他制約 |
| 区分 | 停止時間（h） | メタル温度（℃） | 指令～フル出力 | 給電運用 | 標準停止 | 冷却停止 | 運転可能時間 | 起動可能回数 |
| 起動指令 | ボイラ点火 | ﾀｰﾋﾞﾝ起動 | 並列 | 定格出力 | 並列から | 出力（kＷ） | 定格出力～解列 | 解列時出力 | 定格出力～解列 | 解列時出力 |
| ●●発電所●号発電機 | 700,000 | ベリーホット | 2h以内 | 400以上 | -1H30M | -1H | -30M | 0 | 1H30M | 1H | 300,000 | 2H | 100,000 | 1H30M | 100,000 | 8000 | 200 |
| ホット | 8h以内 | 400～350 | -3H | -1H30M | -40M | 0 | 2H | 1H30M | 300,000 |
| ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

＜起動時の例（ﾎｯﾄﾓｰﾄﾞ）＞

出力（MW）

＜解列時の例（標準停止）＞

出力（MW）

700

700

600

2：00

全出力

600

-2：00

解列指令

（全出力）

0

400

300

200

100

500

0

200

300

400

500

3600rpm

解列時出力

100MW

時間

解列

0

0

-1：00

-2：00

並列

点火

ﾀｰﾋﾞﾝ起動

-1：30

-0：40

時間

2：00

1：00

1：30

給電運用

300

100

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐水力発電所‐

様式４の２

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電所名 | 最大出力（kW） | 最低出力（揚水動力）（kW） | 使用水量（m3/s） | 発電・揚水容量 | 揚水総合効率（%）※ | 貯水池名称 | 貯水池容量（103m3） | フル発電可能時間 | 10時間継続可能出力（kW） | 揚発供給力（kW） | 指令～並列時間（min） |
| 号機 | 発電（kW） | 揚水（kW）※ | 使用水量（m3/s） | 発電 | 揚水※ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

・※揚水式水力発電所の場合に記入してください。

記載例

様式４の２

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐水力発電所‐

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電所名 | 最大出力（kW） | 最低出力（揚水動力）（kW） | 使用水量（m3/s） | 発電・揚水容量 | 揚水総合効率（%）※ | 貯水池名称 | 貯水池容量（103m3） | フル発電可能時間 | 10時間継続可能出力（kW） | 揚発供給力（kW） | 指令～並列時間（min） |
| 号機 | 発電（kW） | 揚水（kW）※ | 使用水量（m3/s） | 発電 | 揚水※ |
| ●●発電所 | 1,500,000 | 750,000（1,560,000） | 375 | 1～6 | 250,000 | 260,000 | 62.5 | 73 | 上池下池 | 9,0009,000 | 6.7 | 1,500,000 | 1,500,000 | 3 | 8 |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

**・**※揚水式水力発電所の場合に記入してください。

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値‐

様式４の３

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電機名 | 最大出力（kW） | 最低出力（kW） | AFC運転可能最低出力（kW） | 「最低出力～AFC運転可能最低出力」の運用値 | 備考 |
| 出力（kW） | 運転継続必要時間 | 出力変化速度（kW/min） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
|  |
|  |  |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

**・**水力発電所において、下流に制約がある場合の出力パターン等の運用条件が存在する場合は、本様式に替えて、追加資料を提出してください。

発電設備の主要運用値・起動停止条件　‐最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値‐

記載例

様式４の３

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発電機名 | 最大出力（kW） | 最低出力（kW） | AFC運転可能最低出力（kW） | 「最低出力～AFC運転可能最低出力」の運用値 | 備考 |
| 出力（kW） | 運転継続必要時間 | 出力変化速度（kW/min） |
| ●●発電所●号発電機 | 700,000 | 105,000 | 300,000 | 300,000 | － | （300,000～265,000）21 | 「105,000kW」からの出力上昇時は、出力上昇の○時間までに予告要 |
| 265,000 | 30M以上 |
| （265,000～175,000）21 |
| 175,000 | 15M以上 |
| （175,000～105,000）10 |
| 105,000 | 3H以上 |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

**・**水力発電所において、下流に制約がある場合の出力パターン等の運用条件が存在する場合は、本様式に替えて、追加資料を提出してください。

＜最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値（例）＞

出力（KW）

200

0

400

300

100

300

300

265

265

175

175

105

30M

以上

15M

以上

15M

以上

30M

以上

3H以上

（時間）

様式５

発電設備の運転実績

ブラックスタート機能を供出する発電機の運転実績について記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 発電所名 |  |
| 送電端出力 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　kW |
| 営業使用開始年月 | 年　　　　　　月 |
| 運転年数 | 年　ヶ月（　　　　年　　月時点）（運転開始から2020年度末までの実績） |
| 総発電電力量 | kW時（　　　　年　　月時点）　　　　　　　　　（運転開始から2020年度末までの実績） |
| 設備利用率 | ％（2020年度の実績） |

定期検査の実績について記入してください。

（作成にあたっての留意点）

・火力発電設備の運転実績または火力発電設備の運転実績を有する者からの技術的支援については、詳細に説明していただくことがあります。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

様式６

運用条件に関わる事項

|  |  |
| --- | --- |
| 発電所名 |  |
| 連続運転可能時間 |  |
| 計画停止の時期および期間等 |  |
| 運転管理体制 |  |
| 給電指令対応システム |  |
| その他 |  |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

運用条件に関わる事項

様式６

記載例

|  |  |
| --- | --- |
| 発電所名 | ●●発電所 |
| 連続運転可能時間 | ※連続運転可能時間に制限がある場合には、連続運転可能時間とその理由を記入してください。 |
| 計画停止の時期および期間等 | ※契約期間内における定期検査等の実施時期や、その期間を記入してください。また、実施時期を限定する必要がある場合は、その旨についても記入してください。※定期検査等の他に、設備都合による作業停止や出力抑制が必要な場合は、実施インターバル、期間および内容について記入してください。 |
| 運転管理体制 | ※当社中央給電指令所、制御所等からの給電指令に対応するための運転管理体制（運転要員、緊急連絡体制等）について記入してください。 |
| 給電指令対応システム | ※当社中央給電指令所、制御所等からの給電指令に対応するためのシステム概要について記入してください。（信号受信装置から発電設備の出力制御回路までの連携方法等） |
| その他 | ※その他、起動や解列にかかる制約（同一発電所における同時起動制約）、条例による制約等、特記すべき運用条件等がありましたら、ご記入ください。 |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

ブラックスタート電源　費用内訳

様式７

年間費用とその内訳（非常用発電機等費用、ＢＳ制御装置等費用）を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発電所名 | 年間費用 | 年間費用内訳 |
| 非常用発電機等費用 | ＢＳ制御装置等費用 |
|  |  |  |  |

（作成にあたっての留意点）

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

２０２１年　月　日

様式８

入　札　辞　退　書

北海道電力ネットワーク株式会社

代表取締役社長　薮下　裕己　宛

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発電所名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　　　　　　　　　印

　　北海道電力ネットワーク株式会社の「2021年度ブラックスタート機能募集要綱」に下記内容で入札しましたが、都合により入札を辞退いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １．ブラックスタート機能の種別 | 全系統ブラックスタート一部系統ブラックスタート(　　系統) |
| ２．発電機等所在地および名称 |  |
| ３．主機の名称、送電端出力 | 号機　　　　　kW |
| ４．非常用発電機の種別と出力 | 圧油用水車（　台）水車発電機（　　kW　　台）エンジン発電機（　　kW　　台）蓄電池（　　Ah） |
| ５．入札価格 | １式　　　　円 |
| ６．計量器の有無 | 有　　　・　　申請中 |

（作成にあたっての留意点）

・「１．ブラックスタート機能の種別」において、辞退する契約について、〇（マル）で囲んでください。

・「３．主機の名称および送電端出力」において、主機が複数ある場合は全て記載してください。

・用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４サイズとしてください。